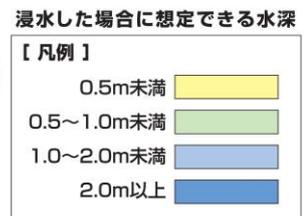


(3) 根尾川浸水想定区域

【100年に1回の大雨による洪水を想定】

- 1.この図は水防法の規定により指定された浸水想定区域と、安八町が浸水した場合に想定される水深を示したものです。
- 2.この図は概ね100年に1回程度(昭和35年8月洪水)の大雨による根尾川のはん濫を最大水深で想定したシミュレーションです。よって実際の浸水深とは異なります。
- 3.この浸水想定区域図は、安八町内のみ表していますので、実際には町外の浸水も発生します。
- 4.この図は国土交通省中部地方整備局木曾川上流工事事務所・下流工事事務所が平成15年に作成した資料を、町が一部修正したものです。

町 境



シミュレーション条件

項 目		内 訳
条 外 力	流 量	昭和 35 年 8 月計画降雨を用い、100 年に 1 回の洪水規模まで引き延ばした雨による流出計算結果
	下流端水位	揖斐川合流地点水位
河 道		上流工事事務所管内；平成 10 年測量
は ん 濫 モ デ ル	追跡手法	2次元不定流法
	流域粗度	建物占有率、土地利用を用いて水深の関数で与える
	地盤高データ	1/2500 地形図（各市町村最新）
	メッシュ長	約 250m のメッシュ（3次メッシュ区画を縦横それぞれ4等分した）
	盛土構造物	支派川の堤防、輪中堤、道路、鉄道について平均地盤高との比高差が 50cm 以上を対象
	排水施設	考慮しない
モ デ ル 河 道	手 法	1次元不等流
	粗度係数	1次元不等流計算により断面ごとに設定
破 堤 越 水 条 件	越 水 幅	50m（越水評価断面間隔に相当する）
	越水開始水位	現況堤防高；平成 10 年測量
	越流・破堤 計 算 式	本間の公式による（治水経済調査マニュアル(案)準拠）
	破堤箇所	200m ピッチで破堤の危険性がある地点すべて
	破堤開始水位	完成堤：HWL 暫定堤：堤防高－余裕高と HWL の小さい方 無堤部：堤内地盤高と高水敷高及び平均 mesh 地盤高の 高い方 橋 梁：現橋桁下高－余裕高と HWL の小さい方
	破 堤 幅	川幅と破堤幅の関係式より設定（治水経済調査マニュアル(案)準拠）
	破堤の時間進行	破堤した瞬間に破堤幅の半分、敷高まで破堤。その後 1 時間で破堤幅は最終破堤幅まで拡大する。拡大速度は一定。
計算条件		計算時間間隔は 5 秒、計算時間は破堤から 3 日間 1 回のシミュレーションで 1 破堤とする
そ の 他		輪中堤の仕切りはすべて閉じているものとした。

【水防法における想定し得る最大規模の浸水想定区域（概ね1000年に1度の降雨量）】

